



高齢者の生きがい就労活動を支援します

市では、高齢者が「生きがい」を得られる「就労活動」を新たに始める団体に対し、初期費用の一部を補助します。

*生きがい就労活動とは

雇用の視点に加え、高齢者の社会参加により生きがいを見いだすことで、健康維持や介護予防につながる就労のことです。

例：コミュニケーションカフェの開設、高齢者の外出支援、配食サービス

●応募資格

- ① 市内を拠点として新たに活動を開始する団体であること
- ② 団体およびその代表者の存在が明らかで、かつ、代表者が市内に住所を有していること
- ③ 団体の構成員が5人以上で、そのうち5分の3以上が市内に住所を有する65歳以上の人であること
- ④ 継続的に活動する団体であること
- ⑤ 政治活動や宗教活動を主な目的としていない団体であること

⑥ 暴力団または暴力団などの統制下にある団体でないこと

●補助対象

営利を目的としない、地域社会の課題解決や地域貢献に資する活動であること

※現在の団体が新たに活動を始める場合も対象となります

●補助対象経費

▼事務所開設費(工事費など)▼初年度の備品費など(活動実施に不可欠な備品など)▼人件費(研修費・謝礼など)

●補助期間

補助金交付決定日(令和6年3月31日)

●補助額

対象経費の2分の1以内(上限50万円)

●補助団体数

1団体程度

●申請期間

7月3日(月)～31日(月)

【問い合わせ・申し込み】

新館長寿福祉課(☎413576)



花巻市民憲章の標語を募集します

花巻市市民憲章推進協議会では、市民憲章標語コンクールの作品を募集しています。

同コンクールは、本市の未来を担う子どもたちの市民憲章に対する関心を高め、理解を深めることを目的に実施しています。

*花巻市民憲章とは

誰もが住みやすいと思えるようなまちにしていこうための本市の指針や目標になるものです。

■対象

市内の小学生

■標語の内容

花巻市民憲章が目指す「誰もが

▶昨年度のポスター。最優秀作品の標語を掲載し、市民憲章の啓発を行っています



住みよいと思えるようなまち」の実現に向けた標語

※未発表のものに限ります

■応募期限

8月31日(木)

■応募方法

各小学校に配布している応募用紙(任意様式でも可)に、①学校名②学年③名前を記入し、通学している学校に提出してください。※応募は1人当たり1点で、学校での受け付けに限ります

■優秀作品表彰

応募作品を審査の上、優秀な作品を12月に開催する花巻市民憲章運動推進大会で表彰。最優秀賞に選ばれた作品は、市民憲章ポスターに掲載されます。同ポスターは、公共施設などに掲示し、市民憲章の啓発活動に活用します。

【問い合わせ】

花巻市市民憲章推進協議会事務局(本館地域づくり課内☎413513)



7月1日から災害情報案内の電話番号が変わります

花巻市管内で火災や救助などが発生したときに、電話で情報を提供している「災害情報案内」の電話番号が、7月1日(土)、午前0時より新しい電話番号に変わります。

災害情報のお問い合わせは、災害情報案内テレフォンサービスをご利用ください。

■新しいテレフォンサービス番号

☎050-1807-4419

■サービスでお伝えする内容

従来通り、消防車両が出動している場所と災害の種類(火災、救助など)を、音声案内でお伝えします。

- 通話料は、利用者負担となります
- 従来のテレフォンサービス番号(☎0180-99-1190)は6月30日で終了します
- 119番での災害情報のお問い合わせは、緊急通報の妨げになりますので、災害情報案内テレフォンサービスをご利用ください

(音声案内)こちらは花巻消防災害情報案内です。現在、花巻市〇〇付近で火災が発生し、消防車が出動中です。



インターネットによる情報配信も

市ホームページでは、市内の火災発生と鎮火の情報(火災速報)をお知らせしています。また、県の「いわてモバイルメール」では、希望する地域内の火災・防災・災害情報をメールで配信しています。



市ホームページ(火災速報) | 市ホームページ(いわてモバイルメール)

【問い合わせ】消防本部警防課(☎24-2141)

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.107

「次の夢は花巻の支えになることだ」国際都市推進員 瀧澤クリスティーンさん



今年の4月から花巻国際交流協会のスタッフに加わった瀧澤クリスティーンです。みんなからクリストと呼ばれています。米国のミシガン州出身です。中学生の時から日本に興味を持っていたのですが、「いつか日本に住む!」と心に決めたくっかけは、高校生の時に東京に6カ月間留学したことでした。実際に体験した日本は漫画やアニメで見た日本と違い、奥が深い文化を持っていてさらに大好きになりました。米国に帰国後、アーラム大学で日本研究を専攻しました。そのとき4カ月間、盛岡市に留学し、改めて日本の魅力を感じました。岩手の自然、ゆったりとした生活リズム、人の親切さと温かさ、全部が大好きでした。それ以来「岩手

に住む」ことが私の目標になりました。2010年にその夢が叶いました。この13年間、たくさんの素敵な人たちに出会い、お互い支え合ってきました。この岩手で出会った多くの人々の厚意に、私はいつも感謝の気持ちを抱いています。2020年に花巻市へ移住しました。花巻市の温泉は最高です。温泉目的でよく花巻に来ることがありましたが、実際に住むまで花巻市の本当の魅力を知りませんでした。街には楽しいお店やおいしいお店もたくさんあります。毎日自宅の窓から眺めている田んぼや山が私の心を癒してくれます。これからもっと花巻市のために働けるのを楽しみにしています。